

令和2年度(2020年度)

小学校生活科用

「あたらしい せいかつ」 年間指導計画作成資料 【1年(上巻)】

令和2年(2020年)2月14日版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	がっこう だいすき		教科書のページ	上 p.1~26
配当時数	20 時間	活動時期	4~5 月	学習指導要領の内容 (1)

単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
<p>がっこうの ことが しりたいな</p> <p>・みんなで教室や学校を見て回り、幼児期に使っていた施設との共通点を探しながら、学校の施設の位置や使い方に気付き、安心して生活することができるようにする。</p> <p>p.4~7</p>	<p>8</p> <p>+国語 4 2/3 (書写 2/3)</p> <p>+算数 2</p> <p>+音楽 1 1/3</p> <p>+図工 1 2/3</p> <p>+体育 4 1/3</p> <p>+道徳 1</p> <p>+学活 5</p>	<p>1 日目：学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。</p> <p>2 日目：名刺をつくって自己紹介をする。</p> <p>3 日目：校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。</p> <p>4 日目：学校の中をみんなで歩いてめぐる。</p> <p>5 日目：学校の中を歩いたり、学校生活について話し合ったり、人数集めゲームをしたりする。</p> <p>6 日目：校庭で遊んだり、探検したりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。</p> <p>7 日目：校庭を探検したり、生き物を探したりする。</p> <p>8 日目：校庭で遊び、友達と関わる。</p>	<p>[知技]学校の施設の位置や使い方に気付いている。</p> <p>[思判表]幼児期の教育で使っていた施設との共通点を探しながら、学校の中を歩いている。</p>
<p>みんなと なかよく なりたいな</p> <p>・友達や学校生活を支える人と関わり、友達の存在やよさに気付き、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。</p> <p>p.8~9</p>			<p>[知技]学校の友達の存在やよさに気付いている。</p> <p>[態度]友達と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、一緒に遊びや学習をしていこうとしている。</p>

ともだちと がっこうを たんけんしよう			
<p>・友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んで探検に行き、学校の施設の特徴に気付くことができるようにする。</p> <p>p.16~17</p>	<p>3</p> <p>+国語 1</p>	<p>①みんなで行った場所を思い出し、班ごとに探検に行く。</p> <p>②見付けた物、こと、会った人について伝え合い、もう一度、班ごとに学校探検に行く。</p> <p>③前回の探検について話し合い、班ごとに別の場所へ学校探検に行く。</p> <p>④見付けた物やこと、会った人について伝え合い、不思議に思ったことやもっと知りたいこと</p>	<p>[知技]学校の施設の特徴に気付いている。</p> <p>[思判表]友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んでいる。</p>

		を話し合う。	
がっこうにいるひととなかよくなるよう			
<p>・学校のことを知りたいという思いをもち、自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりして、学校にいる人々の働きや役割に気付き、何度も学校生活を支える人々と関わろうとすることができるようになる。</p> <p>p.18～19</p>	4 +国語1	<p>①教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合い、練習をして聞きに出かける。</p> <p>②分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。</p> <p>③もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。</p> <p>④探検を振り返り、教頭先生(副校長先生)はどんな仕事をしているのか話し合い、教室に招待する計画を立てる。</p> <p>⑤教頭先生(副校長先生)を招待して、学校の安全について話を聞く。</p>	<p>[知技]学校にいる人々の働きや役割に気付いている。</p> <p>[思判表]自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。</p> <p>[態度]学校のことを知りたいという思いをもち、何度も行ったり、人に聞いたりして調べようとしている。</p>
がっこうでみつけたことをつたえよう			
<p>・学校探検で見付けたことを友達と伝え合い、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付き、安心感をもって、学校で遊びや生活をしていこうとすることができるようになる。</p> <p>p.20～21</p>	3 +国語1	<p>①学校探検で見付けた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決める。</p> <p>②伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして、伝える準備をする。</p> <p>③自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉、写真等を学校の絵地図に付け足す。</p> <p>④友達の話を聞いて分かったことや気付いたことを話し合う。</p>	<p>[知技]自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付いている。</p> <p>[態度]自分の学校生活がさまざまな人や施設に支えられていることに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとしている。</p>
みんなでつうがくろをあるこう			
<p>・みんなで通学路を歩き、自分の登下校時の様子を思い起こしながら、安全を守る人々の願いについて話し、実際の登下校時に、安全に気を付けて行動しようとする事ができるようになる。</p> <p>p.22～23</p>	2	<p>①通学路にある、安全を守るための物や人について話し合い、みんなで学校の周りを歩く計画を立てる。</p> <p>②学校周辺の通学路の1コースをみんなで歩き、気付いたことを話し合う。</p>	<p>[知技(習慣や技能)] 登下校では、安全に気を付けて行動している。</p> <p>[思判表]自分の登下校時の様子を思い起こし、安全を守る人々の願いについて話している。</p> <p>[態度]自分の登下校が、安全を守る人や施設に支えられていることを実感し、自分でも安全に登下校をしようとしている。</p>

単元名	きれいに さいてね		教科書のページ	上 p.27～39
配当時数	8 時間	活動時期	5～9 月	学習指導要領の内容 (7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみを持ち、大切にしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たねを まこう			
<ul style="list-style-type: none"> 幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたりたねをまいたりして、たねの色や形、大きさなどの特徴に気付くとともに、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。 <p>p.28～29</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ① 幼児期の栽培経験を教え合い、教科書を見て植物の花やたねなどを確認し、育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。 ② たねをまき、記録カードに記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] たねの色や形、大きさなどの特徴に気付いている。 [思判表] 幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたり、たねのまき方を決めたりしている。
せわを しよう			
<ul style="list-style-type: none"> きれいな花を咲かせたいという思いを持ち、友達の育てている植物や身近な植物と比較しながら世話の仕方を選ぶ中で、自分が育てている植物が成長していることに気付き、試行錯誤しながら世話をしようとするができるようにする。 <p>p.30～31</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを相談したりして世話を続ける。 ① 植物の世話をしている気付いたことを紹介し合い、大きく育てるために必要なことについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 [思判表] 友達の育てている植物や身近な植物と比較しながら、世話の仕方を選んでいる。 [態度] きれいな花を咲かせたいという思いを持ち、試行錯誤しながら植物の世話をしようとしている。
はなの ようすを つたえよう			
<ul style="list-style-type: none"> 植物を観察し、成長の様子に見通しをもって、開花への期待を話したりかいたりするとともに、開花を喜び、自分が世話をしたことで、植物がきれいな花を咲かせたことに気付き、植物への親しみをもつことができるようにする。 <p>p.32～33</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。 ① 開花の様子を伝え合い、伝え合ったことを基に記録カードにかく。 ② 開花した花を残す方法を考え、押し花やたたき染めなどをする。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 自分が世話をしたことで、植物がきれいな花を咲かせたことに気付いている。 [思判表] 植物の成長の様子に見通しをもって、開花への期待を話したりかいたりしている。
たねを とろう			
<ul style="list-style-type: none"> 植物のたねを集めたり、栽培 	3	<ul style="list-style-type: none"> 常時活動 休み時間などを使って 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 植物が一つのたねから

<p>活動をまとめたりする中で、一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付くとともに、世話を続けられた自分の成長を実感し、これからも植物を育てていくことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.36~37</p>	<p>植物を観察し、たねを集める。</p> <p>①集めたたねを観察したり数えたりして、分かったことを紹介し合う。</p> <p>②これまでにかいた記録カードを活用して、まとめの作品をつくり、友達と見せ合ってこれまでの栽培活動を振り返る。</p> <p>③とったたねをどうするか話し合い、一人一人の思いに合わせて保存したり作品をつくったりする。</p>	<p>たくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付いている。</p> <p>[態度]植物の世話を続けられた自分の成長を実感し、これからも植物を育てていこうとしている。</p>
<p>あきにも そだてよう</p>		
<p>・春から植物を育てられた自分の成長を実感して、秋からも植物を育てたいという思いをもち、春から育てた植物との共通点や相違点を探しながら、秋から育てる植物を選んで、育てていこうとすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.38</p>	<p>外</p> <p>・育てたい植物を選び、たねをまいたり、苗や球根を植えたりする。</p> <p>・開花を楽しみにし、成長の様子を観察しながら、親しみをもって世話を続ける。</p>	<p>[思判表]春から育てた植物との共通点や相違点を探しながら、秋から育てる植物を選んでいる。</p> <p>[態度]春から植物を育てられた自分の成長を実感し、秋にも育てていこうとしている。</p>

単元名	なつが やって きた		教科書のページ	上 p.40～56
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容 (4) (5) (6)

単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

こうていで くさばなや むしを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子を観察し、諸感覚を使って夏の動植物や自然と関わり、その特徴に気付くことができるようにする。 <p>p.42～43</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①校庭で、夏の草花や樹木、虫などの動植物を探したり、それらの様子を観察したりする。 ②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、気付いたことを記録カードにかく。 	<p>[知技]動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子に気付いている。</p> <p>[態度]校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、全身を使って夏の動植物や自然の特徴を探そうとしている。</p>

みんなの こうえんで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊び、公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付くとともに、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めることができるようにする。 <p>p.44～45</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①～②ルールやマナーを守りながら、学校と公園を往復したり、遊具や自然物を使ってみんなで遊んだりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合う。 	<p>[知技]公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)]屋外での活動に際し、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めている。</p>

みずで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 夏の自然と関わりたいという思いをもち、これまでの経験から遊び方を想像しながら、身近な自然や物を使っていろいろな遊びを楽しみ、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、夏の自然を楽しむことができるようにする。 <p>p.46～47</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合ってから、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。 ②水を使った遊びや、遊びに使う物を工夫してつくり、みんなで遊ぶ。 	<p>[知技]身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。</p> <p>[思判表]これまでの経験から、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像し、いろいろな遊びを楽しんでいる。</p> <p>[態度]夏の自然と関わりたいという思いをもち、いろいろな遊びを繰り返し、夏の自然を楽しもうとしている。</p>

あめあがりの こうていを たんけんしよう			
<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりの校庭に探検に出かけ、晴れの日と雨の日の自 	外	<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりの自然との関わりを楽しむ。 	<p>[知技]天候の変化に合わせて、身近な自然の様子が変化する</p>

<p>然の様子の変異点を探しながら、天候の様子に合わせて、身近な自然の様子に変化することに気付くことができるようにする。</p> <p>p.48～49</p>	<p>・晴れの日との違いから、雨上がりの自然の特徴を見付ける。</p>	<p>ことに気付いている。</p> <p>[思判表]晴れの日と雨の日の自然の様子の変異点を探しながら、雨上がりの校庭を探検している。</p>
<p>たのしかった ことを つたえよう</p>		
<p>・夏の自然と自分との関わりを振り返り、気付いたことや楽しかったことを友達と交流する活動を通して、夏の自然を生かして遊ぶ楽しさに気付くとともに、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとすることができるようにする。</p> <p>p.52</p>	<p>1</p> <p>①活動したグループごとに、言葉や動作などでお薦めの遊びを紹介する。</p>	<p>[知技]夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。</p> <p>[態度]夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。</p>

単元名	いきものとなかよし		教科書のページ	上 p.57～65
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容 (7)

単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとするようにすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
むしを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 校庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所に気付くとともに、これまでの経験から世話の仕方を想像して世話の仕方を決め、教室で飼育しようとするようにする。 <p>p.58～59</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 校庭に出かけて虫を探したり、観察したりした後、教室に戻って虫を捕まえる計画を立てる。 虫を探したり捕まえたりする。 捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。 	<p>[知技]校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。</p> <p>[思判表]これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。</p>
むしと なかよくなるう			
<ul style="list-style-type: none"> 虫の餌やりなどをしながら、虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をすることで、虫が変化していることや、生命をもっていることに気づき、これからは生き物を大切にしていこうとすることができるようにする。 <p>p.60～61</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 <p>常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、餌の用意をしたり、すみかを整えたりして、虫の世話をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 虫をこれからどうするか話し合い、元いた場所（捕まえた場所）に帰す。 	<p>[知技]虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。</p> <p>[思判表]餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。</p> <p>[態度]虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからは生き物を大切にしようとしている。</p>
みんなで どうぶつを かおう			
<ul style="list-style-type: none"> 小動物の立場に立って世話の仕方を決めながら、継続的に飼育をし、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするようにする。 <p>p.64～65</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。 	<p>[知技]小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。</p> <p>[思判表]小動物の立場に立って世話の仕方を決め、世話をしている。</p> <p>[態度]小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。</p>

単元名	たのしい あき いっぱい		教科書のページ	上 p.66～82
配当時間	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容 (5) (6)

単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してついたりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こうていで あきを さがそう			
・校庭に出かけ、幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探し、色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付くことができるようにする。 p.68～69	3	①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友達と簡単な遊びをしたりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。	[知技] 色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。 [思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。
こうえんで あきを さがそう			
・身近な自然の様子を観察したり、自然物を利用して遊んだりしながら、秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探し、身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.70～71	3	①～②公園で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合い、記録カードにかく。	[知技] 身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。 [思判表] 秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。
はっぱや みで あそぼう			
・秋の自然と関わりたいという思いをもち、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選び出し、試行錯誤しながら秋の自然を生かした遊びを楽しむことができるようにする。 p.72～73	3	①～②秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをついたりする。 ③秋の自然の中での遊びを振り返り、気付いたことを話し合い、記録カードにかく。	[思判表] 秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。 [態度] 秋の自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。
あきの ことをつたえよう			
・秋の自然と関わったことを	1	①秋の自然の中で活動したこと	[知技] 季節によって楽しめる

<p>振り返り、夏の遊びと秋の遊びを比べ、季節によって生活の様子が変わることに関心、季節を生かして遊ぶことに楽しさを感じて、これからも季節の遊びを楽しもうとすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.74</p>	<p>を振り返り、友達と紹介し合う。</p>	<p>遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わることに関心している。</p> <p>[態度] 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。</p>
<p>あきの おもちゃをつくろう</p>		
<p>・集めたさまざまな自然物を試しながら比べて材料を選び、自分のおもちゃをつくる中で、いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気づき、試行錯誤して楽しいおもちゃを創り出そうとすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.76～77</p>	<p>7</p> <p>①秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。</p> <p>②～⑤おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊び、自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。</p> <p>⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるようにつくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。</p>	<p>[知技] いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。</p> <p>[思判表] さまざまな自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃをつくっている。</p>
<p>いっしょに あそぼう</p>		
<p>・園児の気持ちを想像しながら、一緒に楽しめる遊びやおもちゃを工夫してつくり、自分が遊びを創り出したことでみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気づき、これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.78～79</p>	<p>4</p> <p>①～②自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。</p> <p>③自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。</p> <p>④おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、記録カードにかく。</p>	<p>[知技] 自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] みんなで創った遊びをする際に、遊びのルールを守っている。</p> <p>[態度] 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。</p>

単元名	じぶんで できるよ		教科書のページ	上 p.83～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容 (2)

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人によさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
じぶんの いちにちを みつめよう			
<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活と比較しながら、家の人々の生活を見たり聞いたりし、自分の生活リズムを整えたとともに、自分の生活が家の人に支えられていることに気づき、健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。 <p>p.84～85</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～② 家庭で自分が毎日していることを調べ、調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。 ③ ワークシートを基に、気付いたことについて話し合う。 	<p>[知技] 家庭において、自分が家の人に支えられていることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] 家庭において、自分の生活のリズムを整えている。</p> <p>[思判表] 自分の生活と比較しながら、家の人々の生活を見たり聞いたりしている。</p>
じぶんで できる ことを しよう			
<ul style="list-style-type: none"> 自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描きながら、家で取り組むことを決め、家の人にはそれぞれに果たしている仕事や役割があることに気づき、自分の役割を果たそうとすることができるようにする。 <p>p.86～87</p>	6	<ol style="list-style-type: none"> ① 家の人々がしていることや、家の人々にしてもらっていることを振り返る。 <p>家庭 家の人々がしていることや、家の人々にしてもらっていることを調べる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ② 調べてきたことを伝え合う。 ③ 家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。 <p>家庭 自分でできることに取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ④～⑤ 自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできることを考え、記録カードにかく。 <p>家庭 自分が考えたことに取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 家庭で取り組んだことを振り返 	<p>[知技] 家の人々には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付いている。</p> <p>[思判表] 自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描き、家で取り組むことを決めている。</p> <p>[態度] 家の人々の役に立ちたいという思いをもち、試行錯誤しながら、家庭での自分の役割を果たそうとしている。</p>

		り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。	
これからも つづけよう			
<p>・活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを見付け、自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気づき、これからも、家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.88</p>	3	<p>①さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。</p> <p>家庭・常時活動 家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む（1週間程度）。</p> <p>②自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。</p> <p>③[期間をおいて]自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。</p>	<p>[知技]自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。</p> <p>[思判表]活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを話している。</p> <p>[態度]自分が家庭の役に立っていることを実感し、これからも自分の役割を果たしていこうとしている。</p>
むかしから つたわる あそびを たのしもう			
<p>・地域の人に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気づき、進んで触れ合い、交流しようとすることができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.90～91</p>	外	<p>・地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。</p> <p>・楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。</p>	<p>[知技]地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付いている。</p>

単元名	ふゆを たのしもう		教科書のページ	上 p.92～104
配当時数	9 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容 (4) (5) (6)

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こうていで ふゆを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 季節の自然と関わりたいという思いをもち、これまでに関わった校庭の様子と比較して、校庭の自然の様子が冬になって変化していることに気づき、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 <p>p.94～95</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> ①～②校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを記録カードにかく。 	<p>[知技]校庭の自然の様子が、冬になって変化していることに気付いている。</p> <p>[思判表]これまでに関わった校庭の様子と比較して、冬の特徴を探している。</p> <p>[態度]季節の自然と関わりたいという思いをもち、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。</p>
ふゆの こうえんに いこう			
<ul style="list-style-type: none"> 冬の公園に行き、自分の生活とのつながりを思い描きながら、公園を支えている人と話したり質問したりして、公園には自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることに気づき、大切に利用することができるようにする。 <p>p.96～97</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～②冬の公園での活動について話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したり公園にいる人と関わったりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動を通して気付いたことについて話し合い、記録カードにかく。 	<p>[知技]公園には、自分たちが気持ちよく使えるように、支えている人々がいることに気付いている。</p> <p>[思判表]自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを思い描き、支えている人と話したり質問したりしている。</p>
そとで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 自然現象を生かしたおもちゃで繰り返し遊び、原因を探りながらおもちゃを改良したり、遊びを発展させたりして、自然現象の中に一定のきまりがあることに気付くとともに、適切に道具や用具の準備や片付けをすることができるようにする。 	3	<ol style="list-style-type: none"> ①風を利用して、友達と一緒に簡単な遊びを楽しむ。 ②風を利用したおもちゃをつくり、風を利用して友達と一緒に遊びを楽しむ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして、自分のおもちゃをさらに工夫して、気 	<p>[知技]自然の現象の中に、一定のきまりがあることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)]おもちゃづくりに際し、道具や用具の準備、片付け、整理整頓ができている。</p> <p>[思判表]自然現象を生かしたおもちゃで繰り返し遊び、原</p>

p.98～99		付いたことを記録カードにかく。	因を探りながらおもちゃを改良したり，遊びを発展させたりしている。
ゆきや こおりで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 雪や氷を使って，友達と一緒にさまざまな遊びに取り組み，雪や氷を生かして遊びを創り出す面白さに気付き，季節の自然を生かして自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。 <p>p.102～103</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 体全体を使って雪や氷に触れたり，雪や氷を使った遊びを工夫したりして，友達と遊びを楽しむ。 友達と，自分のお薦めの遊びを教え合う。 	<p>[思判表]雪や氷の特徴を生かした遊びを何度も繰り返し，友達と遊びを発展させている。</p> <p>[態度]雪や氷を使って楽しく遊べることを実感し，季節の自然を生かして自分の生活を楽しくしようとしている。</p>
ふゆの ことをつたえよう			
<ul style="list-style-type: none"> 冬の活動の様子と，夏や秋の活動の様子を季節の流れに沿って並べて話し合い，季節に合わせて自然の様子や生活の様子が変わっていくことに気付き，これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとすることができるようにする。 <p>p.104</p>	1	<p>①冬の自然を観察したり遊んだりしたことなどを振り返り，友達と交流する。</p>	<p>[知技]季節に合わせて，自然の様子や生活の様子が変わっていくことに気付いている。</p> <p>[態度]季節の変化に合わせて身近な自然の様子や生活の様子が変わることを実感し，これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとしている。</p>

単元名	もうすぐ2ねんせい		教科書のページ	上 p.105～114
配当時数	18時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容 (8)(9)

単元の目標	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするようにする。
-------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
あたらしい1ねんせいを しょうたいしよう			
・来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらえるように、新しい1年生の気持ちを想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝える中で、新しい1年生と関わることのよさに気付くことができるようにする。 p.106～107	7	①入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい1年生と一緒に何をしたいか、何を教えたいかについて話し合う。 ②～④新しい1年生を迎える準備をする。 ⑤会場を整え、全体の会を想定して準備・リハーサルをする。 ⑥～⑦新しい1年生を招待して、一緒に活動する。	[知技] 新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付いている。 [思判表] 新しい1年生の気持ちを想像し、新しい1年生との関わり方を決めている。 [態度] 新しい1年生に喜んでもらえるように、学校のことを分かりやすく伝えようとしている。
しょうたいした ことを はなしあおう			
・自分と新しい1年生との関わりを思い起こして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付く、これからも新しい1年生と関わっていこうとすることができるようにする。 p.108～109	2	①新しい1年生と関わって感じたことや気付いたことを話し合う。 ②一緒に活動した幼稚園・保育所等の園児から送られてきた手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができるようになったことを振り返る。	[知技] 自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付いている。 [態度] 新しい1年生に喜んでもらったことを実感し、これからも関わっていこうとしている。
いちねんかんを ふりかえろう			
・入学した頃の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。	3	①写真や動画などの手がかりをもとに、1年間の出来事をみんなで見返る。 ②これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1年間の成長を振り返る。 ③前時にまとめたものを、グループや全体で紹介し合い、1年間	[知技] 友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付いている。 [思判表] 入学した頃の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたり

p.110～111		の成長を振り返る。	している。
ありがとう わたしたちの きょうしつ			
<p>・自分たちの1年間の生活を作品にまとめ、自分の成長と周囲の人々の存在を関連付け、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付く、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとすることができるようにする。</p> <p>p.112～113</p>	6	<p>① 来年度入学してくる1年生のために、自分たちにできることを話し合う。</p> <p>②～⑤ 新しい1年生のために教室の準備をする。</p> <p>⑥ 新しい1年生のために準備した教室内を見て、改めて1年間のことを振り返り、2年生になって取り組んでみたいことなどについて話し合う。</p>	<p>[知技] 自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。</p> <p>[思判表] 自分の成長と、周囲の人々の存在を関連付け、支えてくれた人々がいることについて話している。</p> <p>[態度] 周囲の人々に支えられ、自分が1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。</p>